

中小企業景況調査概況

福井県信用保証協会では、協会利用企業者の現状を把握し中小企業の経営をサポートするため、景況調査を実施しましたので調査結果をお知らせいたします。

(当協会の利用企業は従業員20人以下の企業が9割以上を占めています。)

概要

今回調査における中小企業の景況感は、「業況」、「売上高」、「採算」、「資金繰り」で前回(令和元年10月～12月)調査より悪化し、厳しい状況となった

来期(令和3年1～3月)については、上記4項目でさらなる悪化が予想されており、新型コロナウイルス感染症の収束見通しも不透明であることから、引続き、厳しい状況が見込まれる

企業の声

消費が著しく落ちている。感染症から完全に脱却するまでこの状態は続くものと考え

営業活動の自粛により海外・県外への出張が出来ず、従業員の健康を考えると無理に強要は出来ない

コロナで宿泊・宴会がなくなり、今後は弁当の方に力をかたむけていくしかない

客先への訪問がコロナの影響で厳しくなっている。このまま続くようだと、新規客の増加が見込めない

景況アンケート

今期(令和2年10～12月)の業況DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIが悪化

来期は仕入価格DIについて横ばいが予想されるが、それ以外の全ての項目で悪化が予想される

経営上の問題点としては、新型コロナウイルス感染症の影響もあって「売上・受注の減少」を挙げる企業が多く見受けられた

[当協会利用の500企業を対象に実施、200企業が回答(回答率40.0%)]

新型コロナウイルス感染症の影響等に関する調査

1. 新型コロナウイルス感染症の影響

「新型コロナウイルス感染症による貴社への影響はありますか」という質問に対し、「影響がある」と回答された企業が200企業のうち159企業(79.5%)となった

「影響がある」と回答された企業に対し具体的な影響について聞いたところ、「売上・受注の減少」と回答された企業が159企業のうち143企業(89.9%)と最も多く、次いで「営業活動の縮小」53企業(33.3%)、「資金繰りの悪化」47企業(29.6%)となった

2. 融資制度の利用状況

「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方に向けて、実質無利子・無保証料の融資制度があることをご存知ですか」という質問に対し、「知っている」と回答された企業が78.0%となった

「知っている」と回答された企業に対し融資制度を利用しているか聞いたところ、「はい」と回答された企業が78.9%となり、「いいえ」と回答された企業の中でも「利用予定あり」と回答された企業が8.3%となった。新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰りが悪化し、融資制度を利用する企業が多いことがうかがえる

3. 新型コロナウイルス感染症の影響に対し、期待する支援

新型コロナウイルス感染症の影響に対し期待する支援について聞いたところ「税制の優遇措置」が200企業のうち127企業(63.5%)と最も多く、次いで「休業・売上減少の補償金」79企業(39.5%)、「融資制度の継続・拡充」74企業(37.0%)となった

中小企業景況調査報告書

(令和2年12月)

福井県信用保証協会

目 次

I 調査概況	1
II 企業の声	2
III 景況アンケート	3
1 調査要領	
2 調査結果	

調査方法・時期

当協会を利用する中小企業500企業にアンケート調査
(回答数200企業)

今期(令和2年10～12月)を前期(令和元年10～12月)と比較

来期(令和3年1～3月)見通しを今期と比較

I 調査概況

【 概 要 】

今回(令和2年10月～12月)調査における中小企業の景況感は、「業況」、「売上高」、「採算」、「資金繰り」で前回(令和元年10月～12月)調査に引き続き悪化した。来期(令和3年1～3月)については、上記4項目でさらなる悪化が予想されており、新型コロナウイルス感染症の収束見通しも不透明であることから、引続き、厳しい状況が見込まれる。

企業の声

当協会をご利用いただいている中小企業へのアンケートにより現状を調査した結果、各企業の代表者からは、次のような意見があった。

- ・ 消費が著しく落ちている。感染症から完全に脱却するまでこの状態は続くものとする
- ・ 営業活動の自粛により海外・県外への出張が出来ず、従業員の健康を考えると無理に強要は出来ない
- ・ コロナで宿泊・宴会がなくなり、今後は弁当の方に力のかたむけていくしかない
- ・ 客先への訪問がコロナの影響で厳しくなっている。このまま続くようだと、新規客の増加が見込めない

景況アンケート

今回(令和2年10月～12月)調査における中小企業の景況感は、「業況」、「売上高」、「採算」、「資金繰り」で前回(令和元年10月～12月)調査に引き続き悪化した。

設備投資を予定している企業は、前回調査より減少。内訳としては、新規設備よりも、既存設備の修理・修繕を行う予定の企業が多い。

経営上の問題点では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「売上・受注の減少」を挙げる企業が6割以上となった。

来期(令和3年1～3月)については、仕入価格以外の全ての項目でさらなる悪化が予想されており、新型コロナウイルス感染症の収束見通しも不透明であることから、引続き、厳しい状況が見込まれる。

Ⅱ 企業の声

当協会をご利用いただいている中小企業へのアンケートにより現状を調査した結果、各企業の代表者からは、次のような意見があった。

1 繊維品製造

- ・ 経営環境の大きな変化に対し、新しいビジネスモデルの構築を要する。商品開発を急ぐ必要有り
- ・ 消費が著しく落ちている。感染症から完全に脱却するまでこの状態は続くものとする
- ・ 輸入製品のここ半年位でのますますの増加により、国内製造の減少、残った国内生産品も海外輸入品と比較で売値下落。見通し的には、あまり明るくないのが現状

2 機械・金属製造

- ・ 営業活動の自粛により海外・県外への出張が出来ず、従業員の健康を考えると無理に強要は出来ない
- ・ 回復する兆しが見えない
- ・ 将来の見通しが立たない

3 眼鏡製造

- ・ 来年は一段と悪化するという意見が多い

4 その他の製造

- ・ 元請会社の売上減少による受注減
- ・ 人が出ないため、現場売上が減少
- ・ 大変悪化しており、今後も減少傾向

5 建設

- ・ 公共工事の発注の減少が心配
- ・ 受注が減少し、まだ1年ぐらいは厳しい
- ・ 民間工事の中止および延期あり。公共工事を出してほしい
- ・ 令和3年、コロナでさらに売上が減少しそう

6 卸売

- ・ 11月半ばから再び景況感が悪くなってきた。見通しは見えてこない
- ・ コロナの収束のメドないので今後不安材料残している
- ・ 新しい販売先を早急に見つけたい。柱となる商品を早く作りたい

7 小売・飲食

- ・ 化粧品販売をしているが、マスクの着用により、メイク商品が5分の1まで減少している
- ・ 弊社の主力商品はホテル・旅館向けだが、コロナ禍のため売れず、大変困っている
- ・ コロナで宿泊・宴会がなくなり、今後は弁当の方に力のかたむけていくしかない
- ・ 会社の接待などが減っていることにより、客単価が下がり気味
- ・ 売上のテイクアウトの割合が増えている

8 サービス

- ・ コロナ第3波の影響で受診を控えられる患者さんが再び増加している
- ・ 客先への訪問がコロナの影響で厳しくなっている。このまま続くようだと、新規客の増加が見込めない

9 不動産

- ・ コロナの影響で売上が減少している

Ⅲ 景況アンケート

1 調査要領

- (1) 調査時期 令和2年12月
- (2) 方法 郵便封書による送付・回答
- (3) 対象期間 令和2年10～12月の実績（今期）
令和3年1～3月の予想（来期）
- (4) 対象 当協会を利用する中小企業500企業
（従業員20人以下の企業が9割以上を占める）
- (5) 回答企業 200企業（回答率：40.0%）

業種	送付企業数	回答企業数	回答率
製造業	100	39	39.0%
建設業	112	49	43.8%
卸売業	52	21	40.4%
小売業・飲食店	126	49	38.9%
運送倉庫業	12	7	58.3%
サービス業	90	31	34.4%
不動産業	8	4	50.0%

(6) 分析方法

本報告書のDIとは、Diffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について〈良い・やや良い〉とする企業割合と、〈悪い・やや悪い〉とする企業割合の差を表したものである。また、前回DIとは令和元年12月調査時を差す。

※ 前回調査（令和元年10月～12月）

2 調査結果

(1) 総括

前回調査より厳しい 来期も厳しい見通し

今期（令和2年10～12月）は、業況DI△29.5（前回より17.0ポイント下降）、売上高DI△33.0（18.3ポイント下降）、採算DI△43.5（23.4ポイント下降）、資金繰りDI△31.5（10.8ポイント下降）となり、前回調査に引き続き悪化した。

今期においては、新型コロナウイルス感染症が中小企業者の経営に多大な影響を及ぼしている実態が明らかとなった。

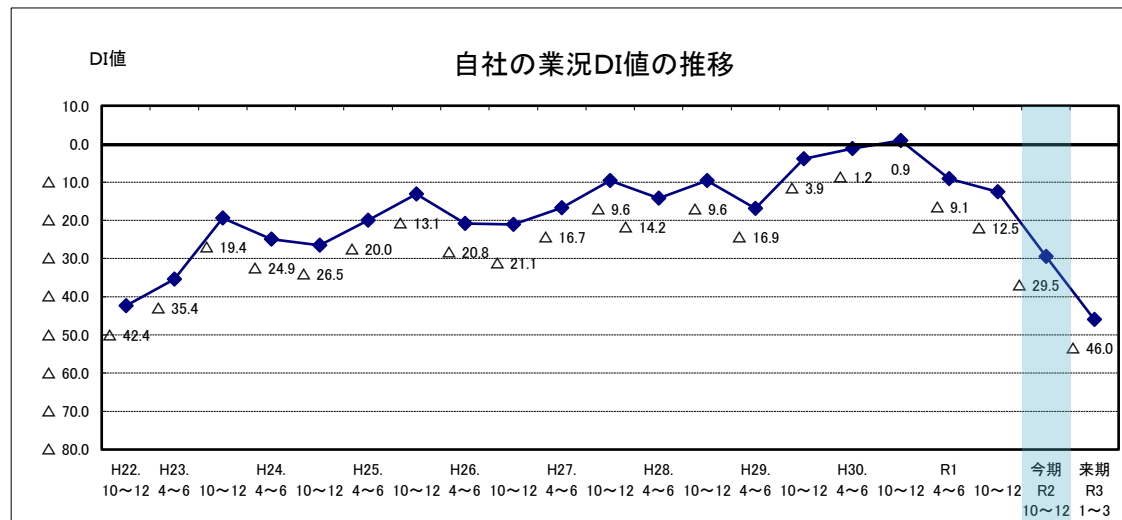
来期（令和3年1～3月）については、仕入価格以外の全ての項目でさらなる悪化が予想されており、新型コロナウイルス感染症の収束見通しも不透明であることから、引続き、厳しい状況が見込まれる。

(2) 業況

前回調査より厳しい
来期も厳しい見通し

今期の業況 DI(良い－悪い)は△29.5となり、前回 DI △12.5より17.0ポイント下降し、前回調査に引き続き悪化した。機械・金属製造業14.3(前回 DI より64.3ポイント上昇)、繊維品製造業△54.5(前回 DI より36.4ポイント上昇)で改善。一方、運送倉庫業△57.1(前回 DI より82.1ポイント下降)、不動産業△75.0(前回 DI より75.0ポイント下降)と悪化した。

来期の業況 DI は、△46.0と今期より16.5ポイント下降の見通し。

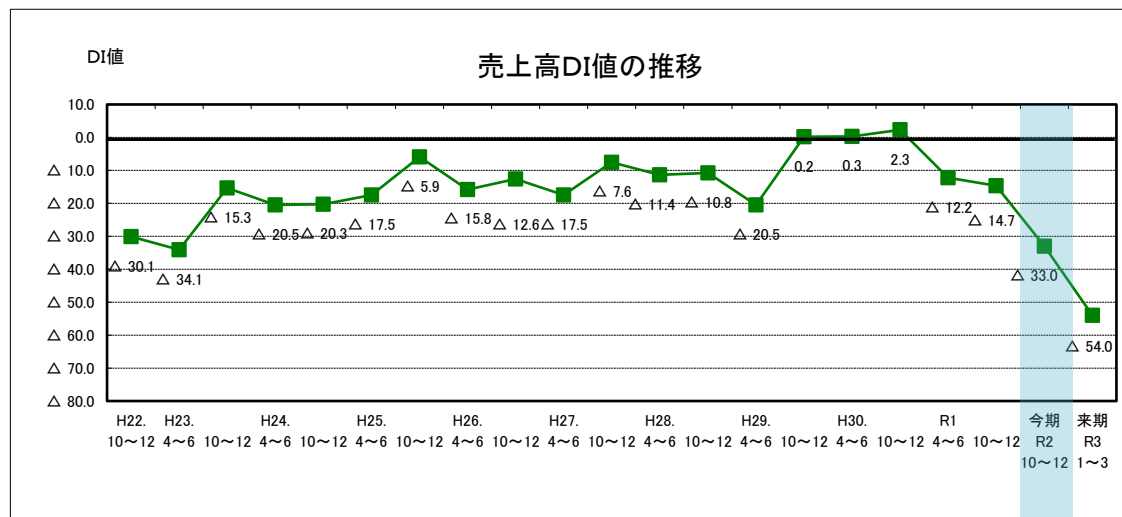


(3) 売上高

前回調査より厳しい
来期も厳しい見通し

今期の売上高 DI(増加－減少)は△33.0となり、前回 DI △14.7より18.3ポイント下降し、前回調査に引き続き悪化した。機械・金属製造業0.0(前回 DI より62.5ポイント上昇)、繊維品製造業△27.3(前回 DI より54.5ポイント上昇)で改善。一方、運送倉庫業△42.9(前回 DI より67.9ポイント下降)、サービス業△45.2(前回 DI より56.3ポイント下降)と悪化した。

来期の売上高 DI は、△54.0と今期より21.0ポイント下降の見通し。

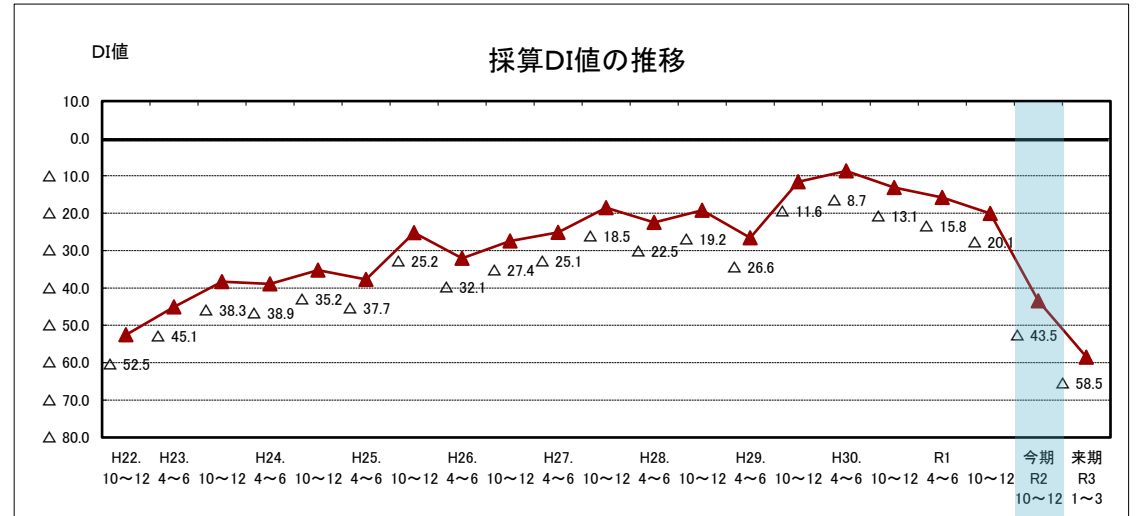


(4) 採算

前回調査より厳しい
来期も厳しい見通し

今期の採算 DI(良いー悪い)は△43.5となり、前回 DI △20.1より23.4ポイント下降し、前回調査に引き続き悪化した。繊維品製造業△63.6(前回 DI より9.1ポイント上昇)、機械・金属製造業△28.6(前回 DI より8.9ポイント上昇)で改善。一方、サービス業△48.4(前回 DI より54.0ポイント下降)、眼鏡製造業△75.0(前回 DI より50.0ポイント下降)と悪化した。

来期の採算 DI は、△58.5と今期より15.0ポイント下降の見通し。

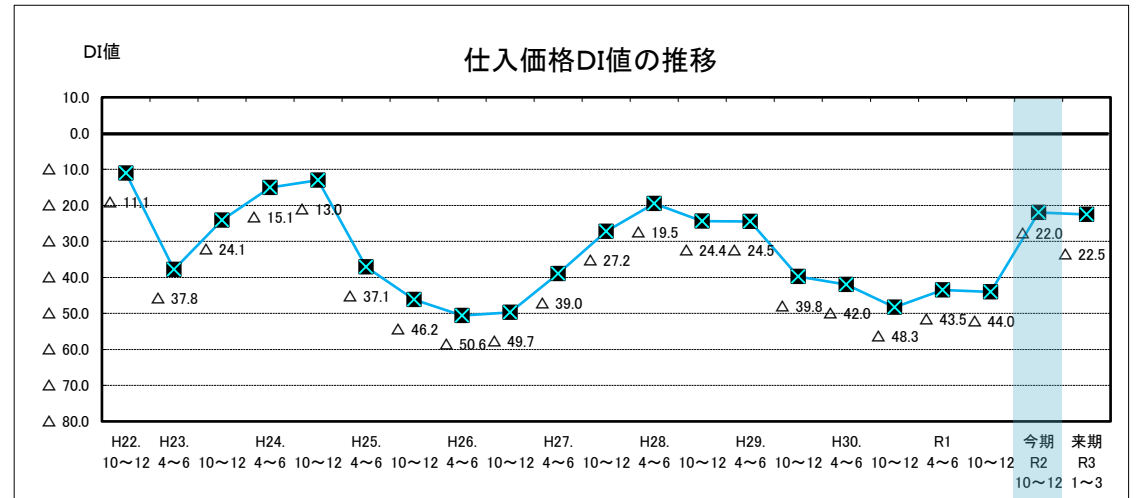


(5) 仕入価格

前回調査より改善
来期は横ばいの見通し

今期の仕入価格DI(低下ー上昇)は△22.0となり、前回 DI△44.0より22.0ポイント上昇した。繊維品製造業18.2(前回 DI より63.7ポイント上昇)、飲食業△28.6(前回 DI より38.1ポイント上昇)と改善。一方、小売業△35.7(前回 DI より13.1ポイント下降)、機械・金属製造業△28.6(前回 DI より3.6ポイント下降)と悪化した。

来期の仕入価格 DI は△22.5と今期より0.5ポイント下降の見通し。

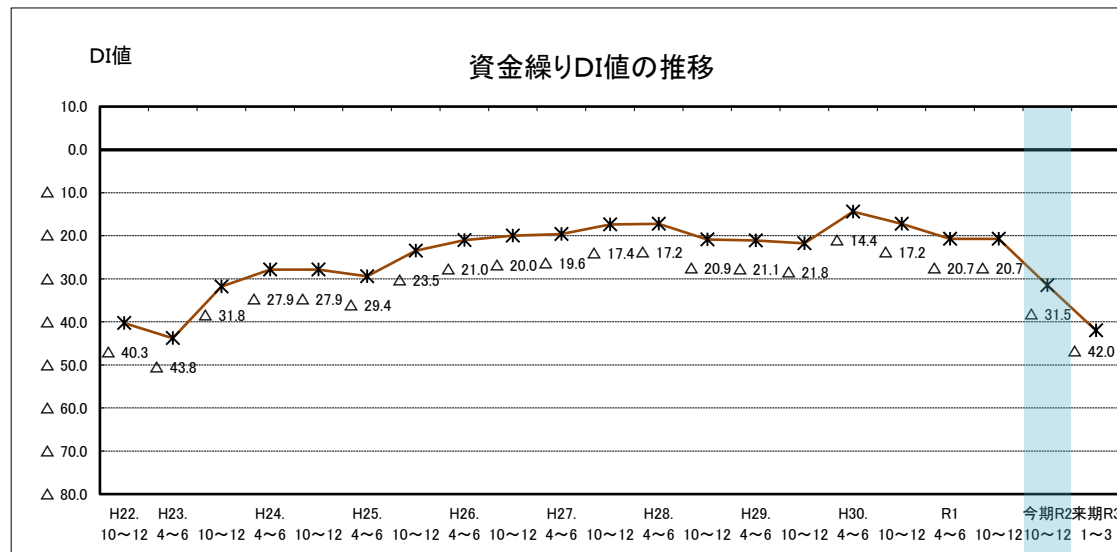


(6) 資金繰り

前回調査より厳しい
来期も厳しい見通し

今期の資金繰り DI(良い-悪い)は△31.5となり、前回 DI△20.7より10.8ポイント下降した。繊維品製造業△54.5(前回 DI より9.1ポイント上昇)、小売業△35.7(前回 DIより3.0ポイント上昇)と改善。一方、眼鏡製造業△75.0(前回 DI より50.0ポイント下降)、不動産業△25.0(前回 DI より50.0ポイント下降)と悪化した。

来期の資金繰り DI は、△42.0と今期より10.5ポイント下降の見通し。

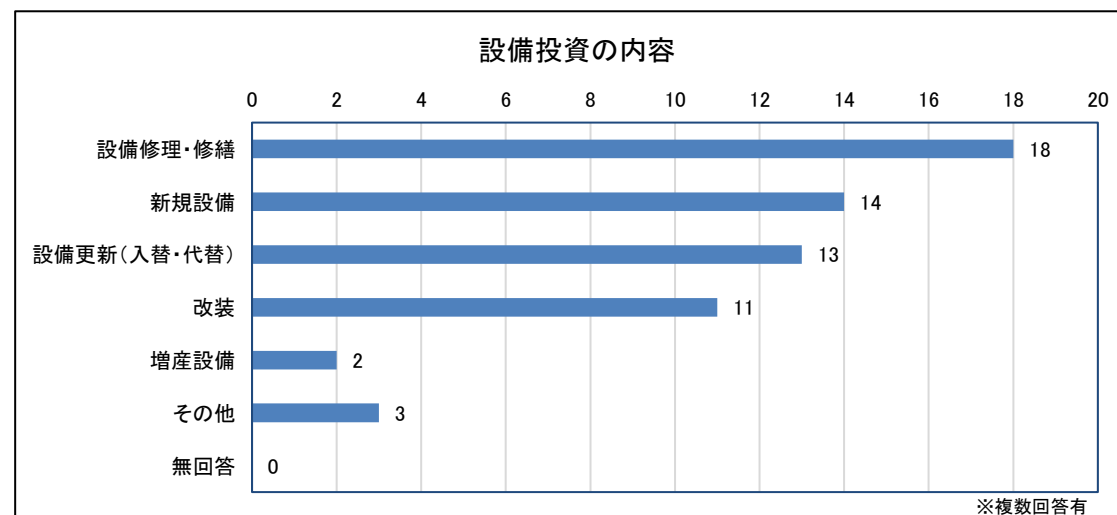


(7) 設備投資について

今後1年間のうちに設備投資を予定している企業は、200企業中56企業(構成比28.0%)となり、前回調査(同30.4%)より減少

設備投資の予定が「ある」は56企業(構成比28.0%)となり、設備投資を予定している企業は前回調査(同30.4%)より減少した。

内容では「設備修理・修繕」18企業、「新規設備」14企業の順となった。



(8) 業種

1 繊維品製造業

調査項目全てについて改善するも、業況、売上高、採算、資金繰りは依然マイナスとなっている。来期は調査項目全てについて悪化が見込まれる。

2 機械・金属製造業

業況、売上高、採算について改善するも、仕入価格、資金繰りについては悪化。来期は調査項目全てについて悪化が見込まれる。

3 眼鏡製造業

業況、売上高、採算、資金繰りについて悪化。調査項目全てにおいてマイナスとなっている。来期も調査項目全てについて今期と同水準となる見通し。

4 その他製造業

売上高、仕入価格について改善するも、業況、採算、資金繰りについては悪化。調査項目全てにおいてマイナスとなっている。来期は調査項目全てについて悪化が見込まれる。

5 建設業

仕入価格について改善するも、業況、売上高、採算、資金繰りについては悪化。調査項目全てにおいてマイナスとなっている。来期は調査項目全てについて悪化が見込まれる。

6 卸売業

仕入価格について改善するも、業況、売上高、採算、資金繰りについては悪化。来期は調査項目全てについて悪化が見込まれる。

7 小売業

仕入価格については悪化。業況、売上高、採算、資金繰りについて改善するも、調査項目全てにおいてマイナスとなっている。来期は仕入価格について改善が見込まれるが、業況、売上高、採算、資金繰りについて悪化が見込まれる。

8 飲食業

仕入価格、資金繰りについて改善するも、業況、売上高、採算については悪化。調査項目全てにおいてマイナスとなっている。来期は仕入価格については改善が見込まれるが、業況、売上高、採算、資金繰りについて悪化が見込まれる。

9 運送倉庫業

仕入価格について改善するも、業況、売上高、採算、資金繰りについては悪化。来期は業況、売上高、採算について悪化が見込まれる。

10 サービス業

仕入価格について改善するも、業況、売上高、採算、資金繰りについては悪化。調査項目全てにおいてマイナスとなっている。来期は仕入価格について改善が見込まれるが、業況、採算について悪化が見込まれる。

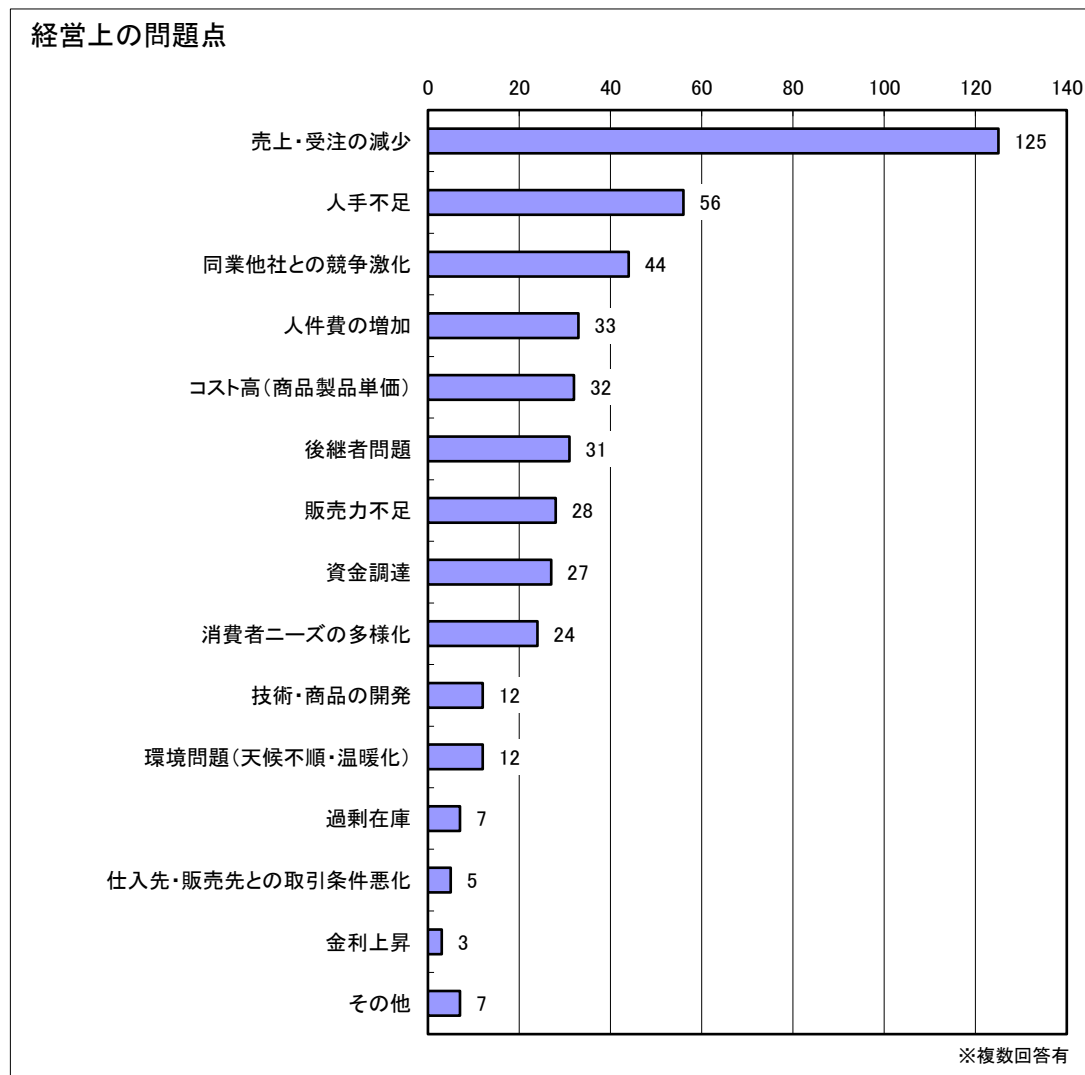
11 不動産業

仕入価格について改善するも、業況、売上高、採算、資金繰りについては悪化。来期は業況、売上高、採算について改善が見込まれる。

(9) 経営上の問題点

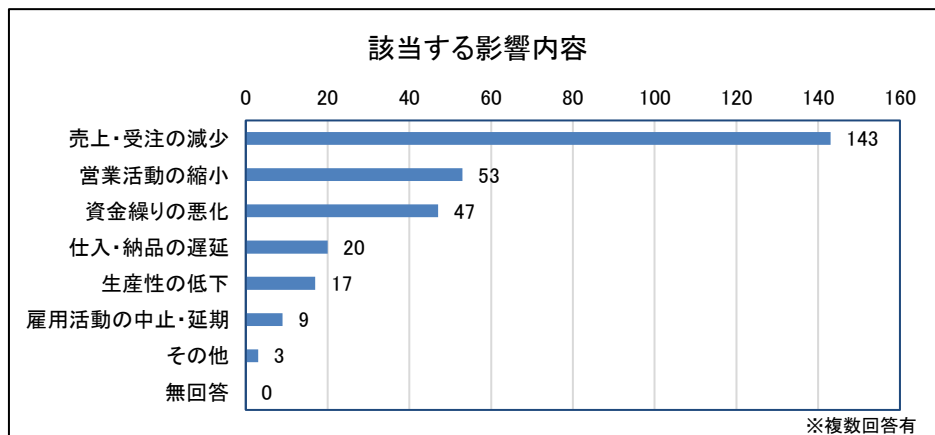
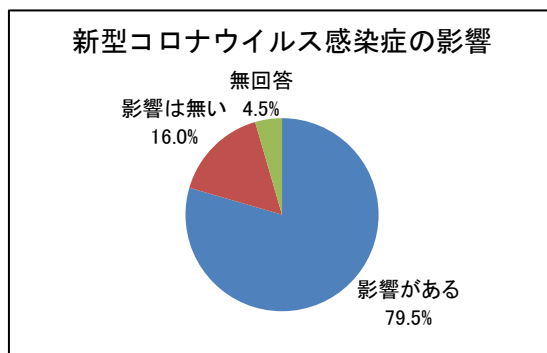
「売上・受注の減少」を経営上の問題点として挙げる企業が最も多く、200企業のうち125企業(62.5%)となり、前回調査(48.4%)より14.1%増加した。

一方、前回調査において44.0%の企業が挙げた「人手不足」は、今回調査では28.0%(16.0%減少)となり、新型コロナウイルス感染症の影響によって人手の問題よりも売上減少が深刻な問題点となっていることがうかがえる。

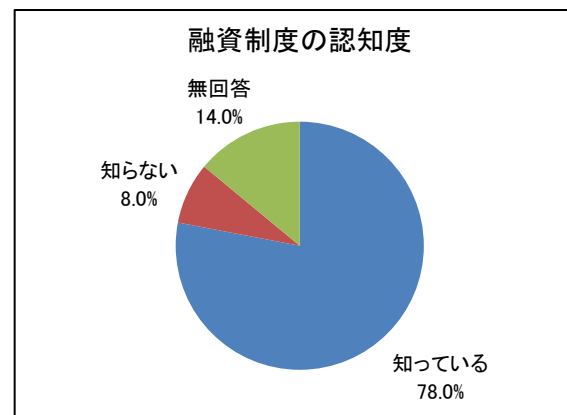


(10) 新型コロナウイルス感染症の影響

「新型コロナウイルス感染症による貴社への影響はありますか」という質問に対し、「影響がある」と回答された企業が200企業のうち159企業(79.5%)となった。「影響がある」と回答された企業に対し具体的な影響について聞いたところ、「売上・受注の減少」と回答された企業が159企業のうち143企業(89.9%)と最も多く、次いで「営業活動の縮小」53企業(33.3%)、「資金繰りの悪化」47企業(29.6%)となった。

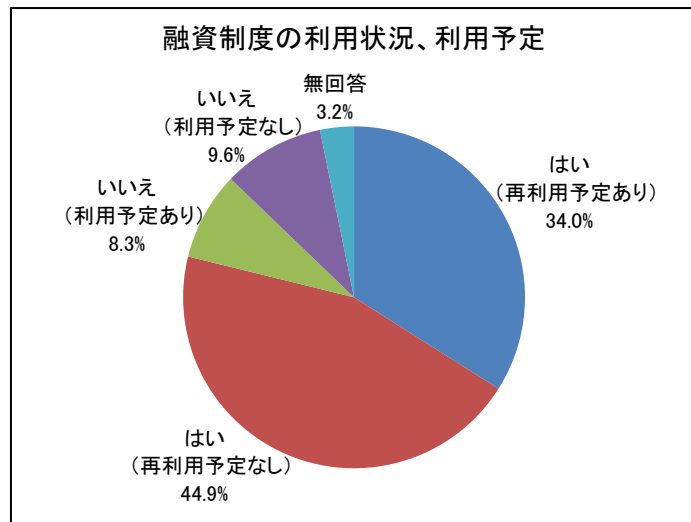


「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方に向けて、実質無利子・無保証料の融資制度があることをご存知ですか」という質問に対し、「知っている」と回答された企業が78.0%となった。

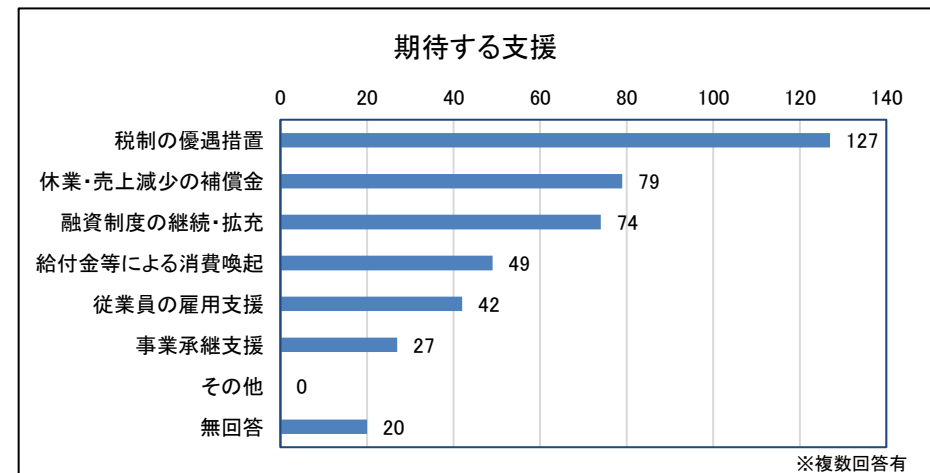


実質無利子・無保証料の融資制度を「知っている」と回答された企業に対し、融資制度を利用しているか聞いたところ、「はい」と回答された企業が78.9%となり、「いいえ」と回答された企業の中でも「利用予定あり」と回答された企業が8.3%となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰りが悪化し、融資制度を利用する企業が多いことがうかがえる。



新型コロナウイルス感染症の影響に対し期待する支援について聞いたところ「税制の優遇措置」が200企業のうち127企業(63.5%)と最も多く、次いで「休業・売上減少の補償金」79企業(39.5%)、「融資制度の継続・拡充」74企業(37.0%)となった。



業 種	自社の業況			売上高			採算		
	今期DI(A)	来期DI(B)	見通し(B)-(A)	今期DI(A)	来期DI(B)	見通し(B)-(A)	今期DI(A)	来期DI(B)	見通し(B)-(A)
繊維品製造業	△ 54.5	△ 63.6	△ 9.1	△ 27.3	△ 63.6	△ 36.3	△ 63.6	△ 72.7	△ 9.1
機械・金属製造業	14.3	△ 42.9	△ 57.2	0.0	△ 28.6	△ 28.6	△ 28.6	△ 42.9	△ 14.3
眼鏡製造業	△ 75.0	△ 75.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0	0.0	△ 75.0	△ 75.0	0.0
その他製造業	△ 23.5	△ 41.2	△ 17.7	△ 17.6	△ 47.1	△ 29.5	△ 47.1	△ 58.8	△ 11.7
製造業 計	△ 30.8	△ 51.3	△ 20.5	△ 20.5	△ 48.7	△ 28.2	△ 51.3	△ 61.5	△ 10.2
建設業	△ 18.4	△ 28.6	△ 10.2	△ 22.4	△ 40.8	△ 18.4	△ 30.6	△ 46.9	△ 16.3
卸売業	△ 47.6	△ 76.2	△ 28.6	△ 38.1	△ 76.2	△ 38.1	△ 47.6	△ 76.2	△ 28.6
小売業	△ 35.7	△ 53.6	△ 17.9	△ 32.1	△ 57.1	△ 25.0	△ 39.3	△ 60.7	△ 21.4
飲食店	△ 28.6	△ 57.1	△ 28.5	△ 47.6	△ 76.2	△ 28.6	△ 47.6	△ 71.4	△ 23.8
運送倉庫業	△ 57.1	△ 71.4	△ 14.3	△ 42.9	△ 71.4	△ 28.5	△ 57.1	△ 71.4	△ 14.3
サービス業	△ 16.1	△ 25.8	△ 9.7	△ 45.2	△ 45.2	0.0	△ 48.4	△ 51.6	△ 3.2
不動産業	△ 75.0	△ 50.0	25.0	△ 75.0	△ 50.0	25.0	△ 50.0	△ 25.0	25.0
全 体	△ 29.5	△ 46.0	△ 16.5	△ 33.0	△ 54.0	△ 21.0	△ 43.5	△ 58.5	△ 15.0

業 種	仕入価格			資金繰り		
	今期DI(A)	来期DI(B)	見通し(B)-(A)	今期DI(A)	来期DI(B)	見通し(B)-(A)
繊維品製造業	18.2	9.1	△ 9.1	△ 54.5	△ 81.8	△ 27.3
機械・金属製造業	△ 28.6	△ 42.9	△ 14.3	△ 28.6	△ 42.9	△ 14.3
眼鏡製造業	△ 25.0	△ 25.0	0.0	△ 75.0	△ 75.0	0.0
その他製造業	△ 5.9	△ 11.8	△ 5.9	△ 35.3	△ 47.1	△ 11.8
製造業 計	△ 5.1	△ 12.8	△ 7.7	△ 43.6	△ 59.0	△ 15.4
建設業	△ 38.8	△ 40.8	△ 2.0	△ 10.2	△ 22.4	△ 12.2
卸売業	0.0	△ 9.5	△ 9.5	△ 38.1	△ 47.6	△ 9.5
小売業	△ 35.7	△ 25.0	10.7	△ 35.7	△ 57.1	△ 21.4
飲食店	△ 28.6	△ 23.8	4.8	△ 57.1	△ 61.9	△ 4.8
運送倉庫業	0.0	0.0	0.0	△ 28.6	△ 28.6	0.0
サービス業	△ 22.6	△ 19.4	3.2	△ 25.8	△ 25.8	0.0
不動産業	0.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0
全 体	△ 22.0	△ 22.5	△ 0.5	△ 31.5	△ 42.0	△ 10.5

自 社 の 業 況		H30.10~12	H31.4~R1.6	前回(R1.10~12)	今回(R2.10~12)	比較(今回-前回)
	繊維品製造業	△ 19.2	△ 42.9	△ 90.9	△ 54.5	36.4
	機械・金属製造業	42.1	△ 50.0	△ 50.0	14.3	64.3
	眼鏡製造業	△ 9.1	0.0	△ 25.0	△ 75.0	△ 50.0
	その他製造業	21.4	△ 6.3	0.0	△ 23.5	△ 23.5
	製造業 計	11.2	△ 20.3	△ 35.7	△ 30.8	4.9
	建設業	13.8	19.1	10.2	△ 18.4	△ 28.6
	卸売業	△ 22.5	△ 39.1	△ 42.9	△ 47.6	△ 4.7
	小売業	△ 7.7	△ 46.0	△ 38.7	△ 35.7	3.0
	飲食店	△ 20.8	10.5	0.0	△ 28.6	△ 28.6
	運送倉庫業	18.2	37.5	25.0	△ 57.1	△ 82.1
	サービス業	△ 7.8	△ 3.4	16.7	△ 16.1	△ 32.8
	不動産業	20.0	25.0	0.0	△ 75.0	△ 75.0
全 体	0.9	△ 9.1	△ 12.5	△ 29.5	△ 17.0	

売 上 高		H30.10~12	H31.4~R1.6	前回(R1.10~12)	今回(R2.10~12)	比較(今回-前回)
	繊維品製造業	△ 15.4	△ 35.7	△ 81.8	△ 27.3	54.5
	機械・金属製造業	31.6	△ 50.0	△ 62.5	0.0	62.5
	眼鏡製造業	0.0	25.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 25.0
	その他製造業	16.7	△ 9.4	△ 21.1	△ 17.6	3.5
	製造業 計	9.2	△ 17.2	△ 45.2	△ 20.5	24.7
	建設業	10.1	15.7	5.1	△ 22.4	△ 27.5
	卸売業	△ 22.5	△ 52.2	△ 21.4	△ 38.1	△ 16.7
	小売業	4.6	△ 41.3	△ 32.3	△ 32.1	0.2
	飲食店	△ 33.3	△ 5.3	0.0	△ 47.6	△ 47.6
	運送倉庫業	36.4	25.0	25.0	△ 42.9	△ 67.9
	サービス業	△ 2.6	△ 11.9	11.1	△ 45.2	△ 56.3
	不動産業	40.0	25.0	△ 25.0	△ 75.0	△ 50.0
全 体	2.3	△ 12.2	△ 14.7	△ 33.0	△ 18.3	

採 算		H30.10～12	H31.4～R1.6	前回(R1.10～12)	今回(R2.10～12)	比較(今回－前回)
	繊維品製造業	△ 34.6	△ 42.9	△ 72.7	△ 63.6	9.1
	機械・金属製造業	15.8	△ 30.0	△ 37.5	△ 28.6	8.9
	眼鏡製造業	△ 18.2	50.0	△ 25.0	△ 75.0	△ 50.0
	その他製造業	4.8	△ 21.9	△ 21.1	△ 47.1	△ 26.0
	製造業 計	△ 6.1	△ 18.8	△ 38.1	△ 51.3	△ 13.2
	建設業	△ 2.8	4.5	0.0	△ 30.6	△ 30.6
	卸売業	△ 25.0	△ 47.8	△ 21.4	△ 47.6	△ 26.2
	小売業	△ 24.6	△ 41.3	△ 45.2	△ 39.3	5.9
	飲食店	△ 50.0	10.5	△ 33.3	△ 47.6	△ 14.3
	運送倉庫業	0.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 57.1	△ 32.1
	サービス業	△ 13.0	△ 13.6	5.6	△ 48.4	△ 54.0
	不動産業	20.0	25.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
全 体	△ 13.1	△ 15.8	△ 20.1	△ 43.5	△ 23.4	

仕 入 価 格		H30.10～12	H31.4～R1.6	前回(R1.10～12)	今回(R2.10～12)	比較(今回－前回)
	繊維品製造業	△ 53.8	△ 50.0	△ 45.5	18.2	63.7
	機械・金属製造業	△ 52.6	△ 40.0	△ 25.0	△ 28.6	△ 3.6
	眼鏡製造業	△ 36.4	△ 37.5	△ 25.0	△ 25.0	0.0
	その他製造業	△ 59.5	△ 62.5	△ 63.2	△ 5.9	57.3
	製造業 計	△ 54.1	△ 53.1	△ 47.6	△ 5.1	42.5
	建設業	△ 58.7	△ 55.1	△ 54.2	△ 38.8	15.4
	卸売業	△ 62.5	△ 52.2	△ 28.6	0.0	28.6
	小売業	△ 36.9	△ 42.9	△ 22.6	△ 35.7	△ 13.1
	飲食店	△ 66.7	△ 47.4	△ 66.7	△ 28.6	38.1
	運送倉庫業	△ 45.5	△ 37.5	△ 25.0	0.0	25.0
	サービス業	△ 27.3	△ 13.6	△ 44.4	△ 22.6	21.8
	不動産業	20.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0	25.0
全 体	△ 48.3	△ 43.5	△ 44.0	△ 22.0	22.0	

資 金 繰 り		H30.10～12	H31.4～R1.6	前回(R1.10～12)	今回(R2.10～12)	比較(今回－前回)
	繊維品製造業	△ 38.5	△ 21.4	△ 63.6	△ 54.5	9.1
	機械・金属製造業	0.0	△ 20.0	△ 12.5	△ 28.6	△ 16.1
	眼鏡製造業	△ 18.2	△ 12.5	△ 25.0	△ 75.0	△ 50.0
	その他製造業	△ 19.0	△ 15.6	△ 31.6	△ 35.3	△ 3.7
	製造業 計	△ 20.4	△ 17.2	△ 35.7	△ 43.6	△ 7.9
	建設業	△ 5.5	△ 2.2	5.1	△ 10.2	△ 15.3
	卸売業	△ 17.5	△ 39.1	△ 35.7	△ 38.1	△ 2.4
	小売業	△ 29.2	△ 55.6	△ 38.7	△ 35.7	3.0
	飲食店	△ 37.5	5.3	△ 58.3	△ 57.1	1.2
	運送倉庫業	0.0	25.0	0.0	△ 28.6	△ 28.6
	サービス業	△ 16.9	△ 23.7	△ 16.7	△ 25.8	△ 9.1
	不動産業	0.0	0.0	25.0	△ 25.0	△ 50.0
全 体	△ 17.2	△ 20.7	△ 20.7	△ 31.5	△ 10.8	